

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成14年8月27日



うつくしま、ふくしま。

福島県

目次

1 最近の県経済動向	1
2 福島県の主要経済指標	3
個人消費	
大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
建設需要	
新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
生産活動	
鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
大口電力使用量 大口電力契約量	5
雇用・労働	
新規求人倍率 有効求人倍率	5
有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
物価	
卸売物価指数 消費者物価指数	7
企業・金融	
企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
中小企業業況判断DI	9
市場	
株式 円相場	9
3 景気動向指数(福島県)	10
4 中小企業経営動向調査((財)福島県産業振興センター)	11
5 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	12
(参考)	
1 福島県金融経済概況	14
2 月例経済報告	14

お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部電子社会推進・統計室
統計分析グループ
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7143
FAX 024(521)7914

1 最近の県経済動向

県内の景気は、生産活動に持ち直しの動きがあるものの、個人消費や雇用情勢が低迷し、引き続き厳しい状況にある。

(1) 個人消費

大型小売店販売額(6月)は総額約192億円となり、前年同月比(店舗調整後)で1.1%減少し、12年10月を除き9年9月から前年割れが続いている。

内訳をみると、百貨店は衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品で前年を下回ったため、同2.4%の減少となった。一方、スーパーは衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂喫茶で前年を下回ったため、同0.6%の減少となっている。

乗用車新規登録台数(7月)は6,663台となり、前年同月比で5.7%減少した。

内訳をみると、小型車、軽自動車ともに前年を上回ったものの、大型車、中型車が11か月連続で前年を下回っている。

(2) 建設需要

新設住宅着工戸数(6月)は総戸数1,307戸となり、前年同月比で2.8%減少し、3か月連続で前年を下回っている。内訳をみると、給与住宅、分譲住宅は前年を上回ったものの、持家、貸家ともに前年を下回った。

公共工事請負金額(7月)は総額約419億円となり、前年同月比で5.0%減少した。

内訳をみると、国の機関は3か月振りに前年を上回ったものの、地方の機関は前年を下回っている。

業務用建築物着工棟数(6月)は157棟となり、前年同月比で1.3%増加し、5か月振りに前年を上回っている。内訳をみると、サービス業では前年を上回ったものの、鉱工業用は9か月連続、商業用は3か月連続で前年を下回った。

(3) 生産活動

鉱工業生産指数(6月)は99.3となり、前年同月比で3.2%上昇し、3か月連続で前年を上回っている。

投資財生産指数(6月)は72.0となり、前年同月比で11.7%低下した。内訳をみると資本財、建設財ともに前年を下回っている。

消費財生産指数(6月)は107.2となり、前年同月比で4.1%低下した。内訳をみると耐久消費財、非耐久消費財ともに前年を下回っている。

鉱工業出荷指数(6月)は117.4となり、前年同月比で11.9%上昇し、5か月連続で前年を上回っている。**鉱工業在庫指数(6月)**は109.1となり、前年同月比で9.5%低下している。

大口電力使用量(6月)は前年同月比で1.2%の減少となり、前年を下回った。**大口電力契約量(6月)**は前年同月比で2.4%の減少となり、8か月連続で前年を下回っている。

(4) 雇用・労働

新規求人倍率(6月)は0.84倍となり、前月比で0.07ポイント上昇している。

有効求人倍率(6月)は0.43倍となり、前月比で0.03ポイント上昇している。有効求職者数(原数値)は48,010人となり、5万人台を下回った。

雇用保険受給者実人員(6月)は21,547人となり、前月より863人減少している。

現金給与総額指数(名目)(6月)は129.9となり、6か月連続で前年同月を下回っている。

所定外労働時間指数(6月)は83.3となり、14か月連続で前年同月を下回っている。

常用雇用指数(6月)は97.1となり、11年2月以降、前年同月を下回る動きが続いている。

(5) 物価

卸売物価指数(全国・7月)は94.4となり、前年同月比で1.2%の下落となっている。

消費者物価指数(福島県・6月)は98.5となり、前年同月比で0.7%の下落となっているが、下落幅は4か月連続で縮小している。

(6) 企業・金融

企業倒産(7月)は、件数は17件となり、前年同月比で43.3%減少している。負債総額は36億3400万円となり前年同月比で75.2%減少している。

倒産件数を業種別にみると、建設関係が9件で最も多くなっている。また、理由別では販売不振が13件と大半を占めている。

金融機関預金残高(6月)は総額5兆6,956億円となり、前年同月比で1.8%減少し、15か月連続で前年を下回っている。一方、貸出残高は総額3兆6,985億円となり、前年同月比で7.2%減少し、5か月連続で前年を下回っている。

貸出約定平均金利(6月)は、2.263%となり、前月比で0.011ポイント低下している。

(7) 中小企業の業況

県内中小企業の業況感を表すDI値(7月)は46.2となり、前月に比べ5.4ポイント改善している。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業で前月より改善したものの、建設業、サービス業では悪化している。

2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H10年	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
13	250,066	223,363	79,253	4,290	15,010	1,174	378,117	192,976	1,621	75,215
13年 1月	22,994	19,463	5,054	267	915	81	14,961	9,813	115	5,748
2	19,475	15,899	7,348	388	1,091	83	24,383	10,489	114	5,565
3	22,504	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	18,058	16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	19,262	17,874	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11	19,395	18,640	6,219	345	1,303	106	23,617	14,388	137	6,073
12	25,861	24,910	5,400	336	1,306	95	29,327	12,744	101	5,732
14年1月	21,275	19,266	5,404	281	996	84	13,563	9,612	121	5,086
2	17,151	15,178	6,765	394	1,049	86	15,184	8,672	103	4,946
3	20,432	18,508	11,359	585	1,041	89	38,838	25,293	98	5,159
4	19,493	17,696	5,312	311	1,346	99	34,120	19,586	140	5,600
5	19,774	17,701	5,716	326	1,161	106	20,954	13,415	110	5,771
6	19,167	17,813	6,272	385	1,307	102	37,351	15,557	157	6,128
7			6,663	403			41,897	17,773		
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.6	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
13	4.3	3.0	2.1	0.7	5.2	4.6	7.2	7.8	13.0	7.5
13年 1月	2.0	2.6	4.0	2.3	15.5	11.1	38.2	17.1	7.5	0.5
2	2.6	5.0	2.5	0.2	18.0	5.9	13.1	16.0	24.5	8.5
3	3.4	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	3.6	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.4	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.5	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11	4.5	0.7	5.5	2.1	3.4	1.2	27.3	5.8	25.9	9.5
12	6.2	2.6	7.7	0.5	4.0	12.9	17.1	11.6	40.9	12.5
14年1月	3.9	2.1	6.9	5.2	8.9	3.5	9.3	2.0	5.2	11.5
2	7.4	4.7	7.9	1.6	3.8	2.8	37.7	17.3	9.6	11.1
3	5.4	1.4	6.2	2.6	13.4	6.3	23.8	18.6	1.0	12.4
4	4.5	2.0	5.4	5.7	5.7	0.6	3.2	3.8	17.6	11.7
5	0.3	1.6	3.6	8.8	5.6	5.8	2.0	3.4	24.7	11.1
6	1.1	0.5	9.1	0.5	2.8	0.3	3.0	4.8	1.3	13.2
7			5.7	0.5			5.0	3.9		
備考	百貨店とスーパーの計 前年同期(月)比は店舗調整後		大型、中小型、軽乗用車の計 「新車登録台数実績表」		持家、貸家、給与住宅、分譲 住宅の計		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計		鉱工業用、商業用、サービス業用 の計	
資料	「商業動態統計調査」		自動車販売店協会 軽自動車協会		「月刊住宅着工統計」 国土交通省		「公共工事前払金保証統計」 保証事業会社協会		「建設統計月報」 国土交通省	
出所	経済産業省		軽自動車協会		国土交通省		保証事業会社協会		国土交通省	

rは訂正値、Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H10年	97.7	98.4	86.5	96.6	106.8	100.6	104.7	99.7	131.5	105.0
11	98.6	99.2	83.2	92.6	111.2	101.3	106.1	101.0	136.5	95.9
12	101.6	105.0	87.1	97.4	111.8	102.6	108.2	107.1	147.9	95.2
13	94.3	96.8	79.6	92.1	108.8	99.1	105.1	99.1	113.0	97.7
13年 1月	93.5	95.0	81.5	88.7	92.6	87.4	96.9	95.1	120.5	99.0
2	98.3	101.5	90.9	100.8	105.6	98.9	104.0	103.3	112.3	100.5
3	105.7	114.3	102.2	129.5	120.4	109.8	114.3	122.2	111.6	94.1
4	93.1	97.1	67.2	88.7	106.0	99.6	100.8	96.7	119.2	97.4
5	93.1	93.7	74.6	84.0	109.3	97.1	100.3	93.4	121.5	100.6
6	96.2	98.2	81.5	91.3	111.8	103.5	104.9	99.8	120.5	101.2
7	95.9	97.3	78.6	87.6	112.0	102.6	107.4	99.6	120.8	100.8
8	88.3	88.9	72.4	81.5	106.0	93.1	101.7	90.7	118.2	100.2
9	92.3	96.4	79.6	99.1	109.6	97.3	109.6	102.1	110.9	94.2
10	94.0	95.5	75.4	84.0	111.1	104.4	109.7	95.7	102.7	96.0
11	92.2	93.6	78.7	85.4	111.6	99.5	107.7	95.8	100.5	95.8
12	89.2	90.6	72.0	84.3	109.8	95.8	103.3	94.5	97.2	92.2
14年1月	85.0	84.3	68.8	77.9	92.0	84.4	95.7	85.3	89.8	95.3
2	91.3	89.8	75.5	82.6	98.3	94.1	104.3	92.5	101.5	95.1
3	100.6	103.1	90.3	110.9	107.9	101.8	115.0	112.0	102.4	86.7
4	96.1	91.2	61.6	75.0	110.1	95.8	109.7	92.9	103.3	87.0
5	97.3	91.8	66.3	74.7	107.8	93.9	112.0	93.6	104.2	89.2
6	P 99.3	95.8	P 72.0	82.6	P 107.2	98.2	P 117.4	97.8	P 109.1	89.0
7										
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	3.8	2.2	6.6	3.1	0.9
11	0.9	0.8	3.8	4.1	4.1	0.6	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.8	4.7	5.2	0.5	1.3	2.0	6.1	8.4	0.7
13	7.2	7.7	8.6	5.5	2.7	3.4	2.9	7.5	23.6	2.6
13年 1月	4.8	1.8	14.1	3.9	7.2	0.1	3.9	1.8	30.5	1.7
2	0.6	1.6	6.8	1.7	0.6	1.7	0.2	1.6	28.1	2.9
3	5.7	2.8	8.4	2.3	2.4	2.7	4.0	2.6	25.8	3.0
4	5.5	4.1	4.8	1.0	7.9	2.2	4.5	5.2	24.0	4.6
5	1.2	3.8	0.8	2.1	5.9	0.4	0.6	3.7	16.8	5.6
6	6.1	8.5	4.8	4.7	3.3	3.5	5.8	8.4	16.6	4.9
7	6.9	8.1	7.7	4.8	4.5	2.7	4.1	7.7	14.5	3.7
8	9.5	11.6	10.3	12.4	5.3	2.5	5.1	11.3	13.4	3.7
9	12.3	12.4	18.5	10.9	2.9	6.4	0.1	11.8	21.5	3.1
10	11.5	11.5	15.9	12.1	4.9	2.6	0.9	11.3	31.7	0.6
11	12.5	13.3	13.9	13.7	4.9	7.0	1.7	12.4	30.2	0.7
12	16.2	15.5	28.8	16.7	4.9	9.4	10.1	14.4	27.5	2.1
14年1月	9.1	11.3	15.6	12.2	0.6	3.4	1.2	10.3	25.5	3.7
2	7.1	11.5	16.9	18.1	6.9	4.9	0.3	10.5	9.6	5.4
3	4.8	9.8	11.6	14.4	10.4	7.3	0.6	8.3	8.2	7.9
4	3.2	6.1	8.3	15.4	3.9	3.8	8.8	3.9	13.3	10.7
5	4.5	2.0	11.1	11.1	1.4	3.3	11.7	0.2	14.2	11.3
6	3.2	2.4	11.7	9.5	4.1	5.1	11.9	2.0	9.5	12.1
7										
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料	「鉱工業指数月報」福島県電子社会推進統計室									
出所	経済産業省									

rは訂正値、Pは速報値

区分 年月	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全国	福島県	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H10年	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.09	1.05	0.65	0.59
13	5,046,831	259,858	1,259,922	0.87	1.01	0.54	0.59
13年 1月	422,842	21,164	1,256,811	1.14	1.11	0.71	0.65
2	413,065	20,860	1,263,425	1.05	1.09	0.68	0.64
3	441,527	22,104	1,267,198	1.05	1.06	0.66	0.62
4	407,467	20,980	1,262,355	1.00	1.07	0.63	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.95	1.07	0.61	0.62
6	435,646	22,472	1,264,528	0.90	1.06	0.57	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.85	1.01	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.81	0.99	0.50	0.58
9	416,886	21,903	1,266,255	0.76	0.97	0.48	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.90	0.44	0.54
11	408,656	20,917	1,238,398	0.66	0.90	0.41	0.52
12	409,425	20,751	1,235,205	0.65	0.91	0.39	0.51
14年1月	393,276	19,838	1,233,051	0.73	0.85	0.39	0.51
2	396,846	19,774	1,230,761	0.79	0.88	0.40	0.50
3	416,952	21,031	1,229,369	0.76	0.94	0.41	0.51
4	414,574	20,609	1,228,924	0.73	0.90	0.42	0.52
5	413,388	21,117	1,230,732	0.77	0.95	0.40	0.53
6	430,514	22,151	1,234,668	0.84	0.96	0.43	0.53
7							
	対前年同期(月)変化率(%)			対前月(期)			
H10年	2.4	3.0	2.7	0.39	0.28	0.30	0.19
11	2.9	0.5	0.0	0.03	0.05	0.06	0.05
12	9.0	3.8	2.5	0.20	0.18	0.14	0.11
13	0.9	2.6	2.7	0.22	0.04	0.11	0.00
13年 1月	12.3	3.8	4.6	0.02	0.03	0.03	0.01
2	5.1	1.7	4.7	0.09	0.02	0.03	0.01
3	7.0	0.3	4.9	0.00	0.03	0.02	0.02
4	6.2	0.4	4.1	0.05	0.01	0.03	0.00
5	5.5	1.0	4.2	0.05	0.00	0.02	0.00
6	2.5	2.3	3.6	0.05	0.01	0.04	0.01
7	1.1	1.2	3.7	0.05	0.05	0.03	0.01
8	2.9	4.5	3.3	0.04	8.33	0.04	6.45
9	4.1	6.0	2.1	0.05	0.02	0.02	0.01
10	4.6	4.7	0.4	0.04	0.07	0.04	0.03
11	6.4	5.5	1.1	0.06	0.00	0.03	0.02
12	7.6	6.0	1.5	0.01	0.01	0.02	0.01
14年1月	7.0	6.3	1.9	0.08	0.06	0.00	0.00
2	3.9	5.2	2.6	0.06	0.03	0.01	0.01
3	5.6	4.9	3.0	0.03	0.06	0.01	0.01
4	1.7	1.8	2.6	0.03	0.04	0.01	0.01
5	1.2	0.7	2.7	0.04	0.05	0.02	0.01
6	1.2	1.4	2.4	0.07	0.01	0.03	0.00
7							
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			「雇用失業情勢」 福島労働局職業安定部			

区分 年月	15 有効求人人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)			
H10年	19,279	1,265	33,982	2,395	16,244	1,021	101.4	100.7	
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	98.3	99.4	
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.0	100.0	
13	21,956	1,534	40,363	2,598	17,937	1,080	100.7	98.9	
13年 1月	24,785	1,556	34,469	2,417	15,088	1,003	86.1	87.0	
2	24,233	1,633	34,344	2,442	15,326	993	83.4	79.9	
3	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.1	85.5	
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.4	82.2	
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.3	80.7	
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	142.8	136.7	
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	108.7	121.8	
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	91.9	87.1	
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	82.8	80.1	
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	83.8	80.5	
11	20,151	1,455	44,305	2,616	20,404	1,138	82.9	83.2	
12	17,386	1,310	42,994	2,546	20,521	1,112	190.2	182.2	
14年1月	17,591	1,368	44,841	2,715	21,252	1,136	82.2	83.5	
2	18,037	1,437	43,949	2,725	20,606	1,101	80.8	79.0	
3	19,820	1,589	45,749	2,832	19,806	1,047	85.7	84.9	
4	19,750	1,571	50,641	3,096	21,231	1,068	79.9	80.8	
5	18,416	1,443	50,544	3,028	22,410	1,151	79.8	78.9	
6	18,557	1,380	48,010	2,858	21,547	1,114	129.9	132.2	
7									
対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	22.4	15.3	19.4	15.6	21.5	16.8	3.1	1.9	
11	3.5	4.6	8.2	5.6	7.1	5.1	3.1	1.3	
12	25.9	22.0	2.2	0.9	6.9	3.3	1.7	0.6	
13	6.2	4.1	12.2	3.6	10.8	4.0	0.7	1.1	
13年 1月	24.3	25.1	4.5	2.1	8.4	3.0	4.1	1.4	
2	17.0	19.9	1.9	2.3	7.4	4.4	2.1	0.4	
3	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.8	0.3	
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.4	0.0	
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	2.0	0.1	
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	3.3	0.9	
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	2.1	4.9	0.5	
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	9.8	0.9	2.0	
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.3	1.2	
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	0.8	1.2	
11	24.5	9.9	31.4	10.8	29.5	9.6	1.8	1.3	
12	29.0	13.6	33.2	11.3	35.6	11.2	2.0	3.6	
14年1月	29.0	12.1	30.1	12.3	40.9	13.3	4.5	4.0	
2	25.6	12.0	28.0	11.6	34.5	10.9	3.1	1.1	
3	22.4	10.4	25.5	9.2	31.0	7.6	4.9	0.7	
4	17.4	7.9	24.4	10.2	35.6	8.5	4.2	1.7	
5	20.5	6.6	20.6	9.7	27.1	5.6	3.0	2.2	
6	11.4	5.3	16.5	8.3	23.7	3.8	9.0	3.3	
7									
備考							全産業5人以上 平成12年=100		
資料 出所	「雇用失業情勢」 福島労働局職業安定部						「毎月勤労統計調査結果速報」福 島県、厚生労働省		

区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム労働者比率		22 卸売物価指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国	福島県	全国	
H10年	104.2	97.3	101.4	100.5	12.6	16.3	97.5	100.8	101.0	
11	92.2	95.8	100.5	100.2	15.8	19.5	96.1	100.5	100.7	
12	100.0	100.0	100.0	100.0	15.4	20.2	96.1	100.0	100.0	
13	94.3	96.3	97.6	99.8	15.7	21.0	95.3	99.3	99.3	
13年 1月	96.4	96.2	97.3	99.6	13.7	21.0	95.7	100.1	99.8	
2	101.1	99.3	97.7	99.3	14.7	21.0	95.7	99.8	99.5	
3	108.1	104.5	97.6	99.0	14.4	20.9	95.6	99.7	99.3	
4	104.9	101.5	98.0	99.9	14.9	20.6	95.5	99.6	99.5	
5	88.7	94.3	97.6	100.0	15.2	20.7	95.5	99.8	99.6	
6	89.6	94.4	97.6	100.2	15.1	20.7	95.4	99.2	99.3	
7	92.3	94.4	97.7	100.3	16.0	20.9	95.5	98.7	99.0	
8	86.2	91.5	97.4	100.1	16.9	21.1	95.4	99.2	99.4	
9	88.1	92.5	98.0	99.9	16.7	21.1	95.2	99.0	99.2	
10	90.9	94.6	97.7	99.9	16.6	21.0	94.8	99.2	99.2	
11	92.7	95.8	97.9	99.9	17.3	21.2	94.6	98.5	98.7	
12	92.6	96.8	97.3	99.9	16.4	21.5	94.6	98.5	98.6	
14年1月	83.3	89.9	96.7	99.2	15.7	21.8	94.4	98.5	98.4	
2	88.5	93.9	96.6	99.0	16.9	21.8	94.5	97.9	97.9	
3	94.8	99.0	95.6	98.6	16.6	21.8	94.4	98.0	98.1	
4	88.5	99.0	96.9	99.5	15.6	21.7	94.4	98.4	98.4	
5	86.5	91.9	96.9	99.5	15.6	21.8	94.4	98.7	98.7	
6	83.3	92.9	97.1	99.6	16.5	21.9	94.4	98.5	98.6	
7							94.4			
	対前年同期(月)変化率(%)				対前月(期)		対前年同期(月)変化率(%)			
H10年	1.6	9.7	1.0	1.2	1.4	0.7	1.6	1.1	0.6	
11	11.5	1.5	0.9	0.3	3.2	3.2	1.5	0.3	0.3	
12	8.5	4.4	0.5	0.2	0.5	0.7	0.1	0.5	0.7	
13	5.7	3.7	2.4	0.2	0.3	0.8	0.9	0.7	0.7	
13年 1月	4.7	3.1	3.1	0.1	2.3	0.3	0.4	0.1	0.3	
2	3.1	1.8	2.1	0.1	1.1	0.0	0.4	0.1	0.3	
3	4.8	0.2	1.3	0.2	0.3	0.1	0.6	0.4	0.7	
4	1.9	2.2	2.7	0.2	0.5	0.3	0.7	0.7	0.7	
5	4.2	1.5	2.6	0.2	0.2	0.1	0.6	0.6	0.7	
6	5.1	2.4	2.7	0.2	0.1	0.0	0.7	1.0	0.8	
7	8.1	4.5	2.3	0.2	1.0	0.2	0.9	1.2	0.8	
8	14.0	4.6	2.7	0.2	10.5	0.2	1.1	0.9	0.7	
9	15.3	7.5	1.9	0.2	0.2	0.0	1.1	0.8	0.8	
10	12.4	7.3	2.3	0.1	0.1	0.1	1.3	0.7	0.8	
11	11.5	8.9	2.0	0.3	0.6	0.2	1.4	1.0	1.0	
12	10.5	8.9	2.2	0.3	0.8	0.3	1.5	1.3	1.2	
14年1月	13.6	6.5	0.6	0.4	0.7	0.3	1.5	1.6	1.4	
2	12.5	5.4	1.1	0.3	1.2	0.0	1.4	1.9	1.6	
3	12.3	5.3	2.0	0.4	0.3	0.0	1.3	1.7	1.2	
4	15.6	2.5	1.1	0.4	1.0	0.1	1.2	1.2	1.1	
5	2.5	2.5	0.7	0.5	0.0	0.1	1.2	1.1	0.9	
6	7.0	1.6	0.5	0.6	0.9	0.1	1.0	0.7	0.7	
7							1.2			
備考	全産業5人以上 平成12年=100						(総平均) 平成7年=100	(総合) 平成12年=100		
資料	「毎月勤労統計調査結果速報」福島県電子社会推進・統計室						「経済統計月報」	「福島県消費者物価指数」福島県		
出所	厚生労働省						日本銀行	総務省統計局		

区分 年月	企業・金融										
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利		
	福島県		全 国		福島県		全 国		福島県	全 国	
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行	
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)		
H10年	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255	
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100	
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116	
13	289	214,959	19,441	162,130	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880	
13年 1月	25	118,508	1,358	9,696	57,808	38,870	47,858	45,850	2.509	2.106	
2	17	11,363	1,448	11,153	57,970	39,985	47,723	45,701	2.442	2.092	
3	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047	
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017	
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990	
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950	
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936	
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925	
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559	48,079	45,056	2.330	1.896	
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503	47,674	44,375	2.287	1.898	
11	19	4,446	1,851	18,821	57,146	39,543	48,207	44,320	2.268	1.898	
12	19	3,074	1,505	15,641	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880	
14年1月	13	2,393	1,620	10,673	56,221	38,870	48,514	44,303	2.298	1.878	
2	23	11,833	1,712	12,714	56,240	38,686	48,958	44,251	2.298	1.875	
3	13	4,017	1,788	20,411	56,464	38,552	50,287	44,061	2.281	1.877	
4	27	12,724	1,641	12,765	56,860	37,048	52,156	43,486	2.300	1.879	
5	20	7,047	1,696	10,846	56,572	36,624	50,477	43,151	2.274	1.881	
6	25	5,290	1,415	7,032	56,956	36,985			2.263	1.873	
7	17	3,634	1,814	12,035							
	対前年同期(月)変化率(%)								対前月(期)		
H10年	37.0	126.0	19.4	5.8	1.5	0.5	0.7	0.9	0.126	0.112	
11	31.8	117.9	23.4	77.0	1.2	3.7	1.9	4.1	0.060	0.155	
12	27.2	67.3	1.9	32.4	2.0	0.1	0.9	1.0	0.146	0.016	
13	12.5	235.3	0.0	0.0	2.7	1.0	0.8	3.4	0.244	0.236	
13年 1月	25.0	5,378.9	5.8	60.6	1.9	1.4	1.1	0.9	0.003	0.010	
2	21.4	524.0	0.3	7.6	2.1	0.1	0.2	1.2	0.067	0.014	
3	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	0.012	0.045	
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	0.099	0.030	
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	0.020	0.027	
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	0.013	0.040	
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	0.018	0.014	
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	0.010	0.011	
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1	0.7	2.1	0.000	0.029	
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8	1.3	2.4	0.043	0.002	
11	24.0	8.4	10.0	53.9	1.7	1.5	1.0	2.8	0.019	0.000	
12	52.5	58.1	2.9	88.0	2.7	1.0	0.8	3.4	0.006	0.018	
14年1月	48.0	98.0	19.3	10.1	2.7	0.0	1.4	3.4	0.036	0.002	
2	35.3	4.1	18.2	14.0	3.0	3.2	2.6	3.2	0.000	0.003	
3	40.9	12.6	5.0	13.8	1.2	4.4	5.5	3.6	0.017	0.002	
4	6.9	30.3	0.6	21.8	2.2	8.9	7.0	3.4	0.019	0.002	
5	0.0	43.7	1.6	6.2	1.5	8.5	4.1	3.2	0.026	0.002	
6	13.6	1.0	9.5	1.8	1.8	7.2			0.011	0.008	
7	43.3	75.2	15.8	61.1							
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース		
資料	「福島県内企業倒産集計」帝国データバンク福島支店				県、国ともオフショア勘定を含む。						
出所	帝国データバンク				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「経済統計月報」日本銀行						

区分	27 中小企業業況判断DI						市場			
	福島県						28 株式		29 円相場	
	年月	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価	出来高	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均
								東証株式 (第1部)	東証株式 (第1部)	
							(円)	(100万株)	(円/米ドル)	
H10年	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90	
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91	
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77	
13	-	-	-	-	-	-	12,102.37	199,533	121.53	
13年 1月	40.7	32.2	53.2	46.9	55.6	32.7	13,720.95	12,218	117.10	
2	38.0	40.1	53.7	24.1	48.1	15.8	13,266.27	13,561	116.04	
3	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12	
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83	
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93	
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15	
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68	
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61	
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98	
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28	
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31	
12	65.2	68.7	59.2	61.7	64.5	61.6	10,496.20	17,996	127.36	
14年1月	64.5	66.1	65.3	53.0	75.9	56.6	10,300.79	14,641	132.66	
2	61.7	60.6	68.6	57.3	68.1	56.1	9,981.65	16,456	133.52	
3	51.0	46.5	62.3	56.1	55.4	46.8	11,448.80	20,601	131.20	
4	50.5	46.6	70.8	52.1	50.6	47.2	11,384.49	17,470	131.07	
5	50.5	44.6	70.7	53.9	51.1	47.8	11,709.62	20,000	126.48	
6	51.6	44.6	58.7	58.0	63.1	47.9	10,965.88	17,395	123.60	
7	46.2	36.0	62.2	53.8	53.8	50.6	10,352.27	18,060	118.07	
	対前月						対前月(期)			
H10年	-	-	-	-	-	-	3,005.34	16,062	9.98	
11	-	-	-	-	-	-	1,428.68	19,605	16.99	
12	-	-	-	-	-	-	372.26	28,400	6.14	
13	-	-	-	-	-	-	5,058.40	29,933	13.76	
13年 1月	16.0	19.0	11.5	21.9	15.0	28.4	688.79	1,746	4.89	
2	2.7	7.9	0.5	22.8	7.5	16.9	454.68	1,343	1.06	
3	5.3	8.6	15.2	20.2	10.1	1.5	557.80	5,641	5.08	
4	2.2	5.6	3.1	0.5	11.4	14.0	703.37	851	2.71	
5	2.8	4.4	10.5	2.2	8.6	3.7	563.71	1,875	1.90	
6	5.9	6.9	8.1	6.3	5.5	0.3	1,000.66	712	0.22	
7	0.0	4.2	15.6	3.1	0.6	4.7	823.78	3,373	2.53	
8	3.6	1.8	16.6	2.4	3.3	7.9	574.90	2,970	3.07	
9	3.2	3.9	2.6	9.0	2.8	2.1	1,579.38	1,060	2.63	
10	3.2	0.8	4.6	2.3	13.0	11.3	442.07	1,269	2.30	
11	0.3	4.4	4.9	6.7	9.8	1.2	72.32	844	1.03	
12	1.3	0.8	14.3	10.1	4.5	5.1	15.02	1,568	5.05	
14年1月	0.7	2.6	6.1	8.7	11.4	5.0	195.41	3,355	5.30	
2	2.8	5.5	3.3	4.3	7.8	0.5	319.14	1,815	0.86	
3	10.7	14.1	6.3	1.2	12.7	9.3	1,467.15	4,145	2.32	
4	0.5	0.1	8.5	4.0	4.8	0.4	64.31	3,131	0.13	
5	0.0	2.0	0.1	1.8	0.5	0.6	325.13	2,530	4.59	
6	1.1	0.0	12.0	4.1	12.0	0.1	743.74	2,605	2.88	
7	5.4	8.6	3.5	4.2	9.3	2.7	613.61	665	5.53	
備考	前年同期(月)比で「良い」-「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場	
資料 出所	福島県産業振興センター						日本経済新聞社	東京証券取引所	日本銀行	

3 景気動向指数(福島県)

概括

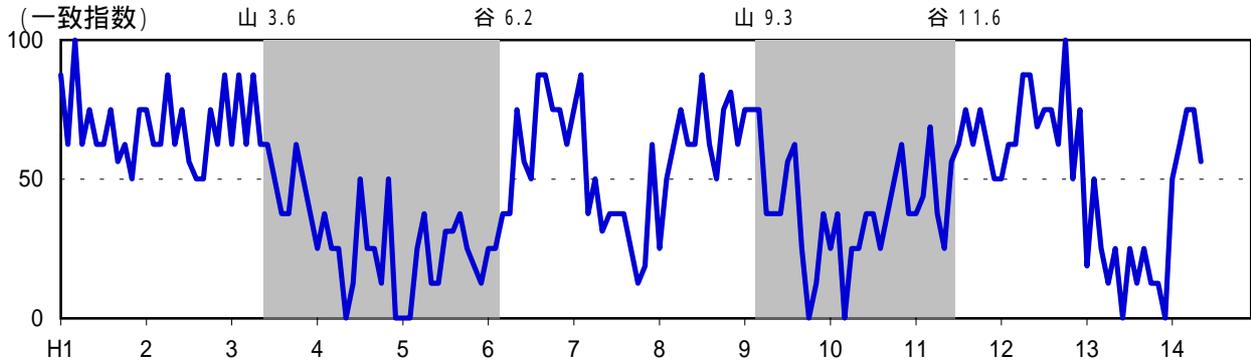
5月の景気動向指数は、先行指数77.8%、一致指数56.3%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、2か月振りに50.0%を上回った。

一致指数は、4か月連続で50.0%を上回った。

遅行指数は、4月に50%を上回った後、50%となった。

景気動向指数(DI)グラフ



DI(Diffusion Index) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。
おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張期、下回っていれば景気後退期と判断される。

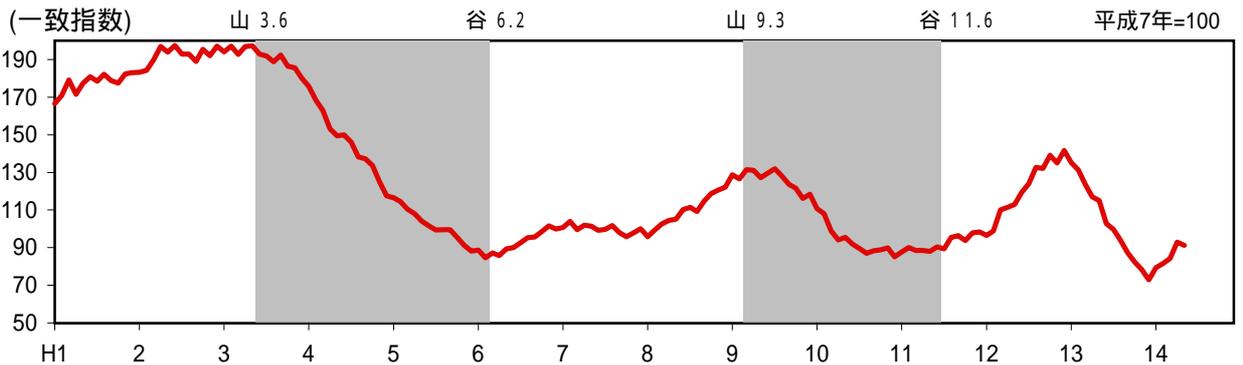
DI表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
13年1月	33.3	18.8	21.4	16.7	45.5	28.6
2	33.3	50.0	42.9	0.0	9.1	57.1
3	38.9	25.0	42.9	8.3	9.1	42.9
4	33.3	12.5	28.6	41.7	18.2	28.6
5	33.3	25.0	14.3	58.3	27.3	28.6
6	22.2	0.0	28.6	16.7	18.2	28.6
7	44.4	25.0	42.9	29.2	9.1	71.4
8	33.3	12.5	28.6	25.0	0.0	42.9
9	22.2	25.0	28.6	16.7	9.1	28.6
10	11.1	12.5	14.3	0.0	9.1	28.6
11	27.8	12.5	42.9	0.0	18.2	14.3
12	22.2	0.0	14.3	33.3	27.3	28.6
14年1月	66.7	50.0	14.3	58.3	45.5	14.3
2	44.4	62.5	14.3	58.3	54.5	14.3
3	55.6	75.0	28.6	83.3	68.2	28.6
4	38.9	75.0	71.4	P 77.3	P 80.0	P 50.0
5	77.8	56.3	50.0	P 90.9	P 100.0	P 33.3
6				P 72.7	P 80.0	P 50.0
採用指標数	9指標	8指標	7指標	12指標	11指標	7指標

資料 県:電子社会推進・統計室「福島県景気動向指数」 rは訂正值、Pは速報値
出 所 国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

参考 景気総合指数(CI)グラフ



CI(Composite index) : 景気変動の強弱の把握を目的として、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

一般に、一致指数が上昇しているときに景気拡張期、下降しているときに景気後退期である。

製 造 業

国、県関係官庁等の先の見通しについて、明るい見解を示しているが、実際、地方都市、農村の中小零細企業においては、今後廃業倒産が今まで以上に出る感がする。

【食料品】

天候不順による販売不振が単価下落に輪をかけ、投げ売りの価格が流通のチラシに現れてきている。リストラ効果も吸収されてしまうようだ。

【食料品】

先々を予想することは全くできない。デメリットの条件は全て当てはまる。

【ニット】

季節的要因の強い業種であるため、3か月後は閑散期に入るため、ますます厳しさが付いてくるものと思われる。

【縫製】

秋物に入りつつあり、メーカーにより上下あるが一息付きたいもの。力は出し尽くした状態。

【縫製】

受注減少が最悪の状態。売上高もかなり低下して資金面にも影響。借入ができず頭が痛い。

【木材・木製品】

規制緩和が進む限り、不景気の回復はなかなか進まないだろう。新しい規則づくりが必要では。

【木材・木製品】

一週間が長く感じられる。不況を抜け出したい。

【鉄鋼・非鉄】

メインユーザーの生産予定増加。

【金属】

2年間で20%単価ダウン。

【一般機械】

売上額が下がるばかり。先の見通しが分からず人員削減するしかないと思う。

【電気機器】

借入環境が悪い。

【電気機器】

ITが進歩し、市場販売状況が刻々と分かるようになってきたので、増減産のスピードが非常に速くなってきている。市場需給が即、当社の増減産に結びつくため、月の生産計画変更を頻繁に行い、そのための無駄が非常に多くなってきている。

【精密機器】

現在では、売上の激減を止められず、ピーク時の一割まで落ち込んでおり、対処策はない。

【プラスチック】

売上を増やそうとすると、余分な出費が多すぎる。

【プラスチック】

建 設 業

公共工事激減で仕事がない。

【土木】

公共工事減少(発注減) 今後の懸念材料。

【土木】

公共工事に関する不詳事件発生防止と企業選別のため、入札に関する適正化法が制定され、規制が強化された。それは大事なことで賛同するが、官庁の責任で着工できない工事が極めて多く、受注後半年着工できない現場も多い。その対応を工事一部中止とするので専任技師は仕事ができないのに毎日現場に常駐している。日本は役人天国である。

【土木】

卸 売 業

当社は全国に販売しているが、人口の多い、大き

い販売力と資金のある会社は伸びている。

【衣服】

景況好転の材料なく、むしろ悪化材料のみ。覚悟の秋と判断している。

【衣服】

最近各金融機関の融資条件が非常に厳しくなっている。郡山の大手スーパーの支払いが遅れて資金繰りが厳しくなっている。

【飲食料】

公共事業(土木)が少なくなり影響大きい。

【機械器具】

資材流通経路の自由化による一般工務店の販売店及び各卸店の垣根を越えた仕入が活発化している。

【建築材料】

小 売 業

競合店出店が続く状況。

【中小スーパー】

大型店が退去してしまったが、当社の客入り、売上とも約10%改善され、経営内容がぐんと向上した。他の商店街の店は、反対に業績を悪化させ、現在7%がシャッターを下ろしている。外的環境で勝負が決まるものではない好例である。

【中小スーパー】

デフレ傾向が止まらず、特売等で一時的に売上が増えても、採算が悪く資金繰りに影響する。昨年のチラシと比べると10%以上安くなっている。特に人気商品、売れ筋商品のデフレが一段と進んでいる。

【中小スーパー】

今までに経験したことのないほど悪い環境で、秋冬物の時期に期待するのみ。

【衣料】

ますます大変な状況になりつつある。全力で対応しているがなかなか効果が出ない。

【飲食料】

公共工事少なく車両販売できない。特に当社は受注減。

【自動車販売】

独自の製品、商品を販売すること以外、何も今は考えられない。他社ができないことを戦略にいち早く取り入れた会社は順調。いち早く生活に充実感を持ち直したいものだ。

【家具・建具】

同業他社、廃業倒産等多く、小泉内閣の無能政治で目の前が暗くなり、経営意欲がなくなる。

【その他】

建築土木関連は公共・民間共に工事量が激減。優劣の差がますます拡大し、体力を消耗した会社は持ちこたえられない。

【その他】

いわき市内での商業立地地区の移動が際立ってきたようだ。

【その他】

サ ー ビ ス 業

全国的に地区名物名所の宣伝が強力に実施されているため、会津等の古来の温泉は客が少なくなる現象が当分続くと思われる。

【観光旅館】

当社は特殊運送業にて現行に大きい変化はないものの、荷主から厳しい単価のチェックを受けており、その影響は5か月後から生じると考える。

【運送】

食品製造業

(1) 乳製品

「生活習慣病」は、個人が生活習慣を改善することで、病気の発症や進行が予防できるという捉え方をしたもののだが、中でも食生活の改善は多くの生活習慣病と深く関係していると言われている。食品の3つの機能、「栄養・味覚・体調調節」のうち、乳製品に関してはヨーグルトが体調調節という点に関し注目されている。テレビ等でも取り上げられ、時によっては注文に応じ切れない状況もあるようだ。昔々から愛飲されていたものが、科学の目によって様々な機能が見直され、今また消費者に歓迎されているというのは非常に嬉しいことである。

(2) 豆腐油揚

7月は中旬以降非常に暑い日が多くなり、冷や奴の売れ行きが少々良くなった。しかし値段が厳しくなって来た。収益の良い業者とそうでない業者の格差が広がりつつある。

(3) パン

梅雨明け、即、猛暑の到来でパンの小売は開店休業状態となり、学校給食委託加工の夏休みとも重なり、毎年のことながら商売の方も夏休み状態の毎日である。本組合では、この期間を利用して工場内外の清掃・整理、機械器具の整備、従業員の健康チェックと衛生対策の再教育を徹底するよう指導している。

(4) 味噌醤油

消費者に対する安心、安全等を含めた保護基本法がさらに改革されようとしており、食品加工業者の責任が厳しくなる状況である。当業界においても例外ではなく、JAS法をはじめ食衛法による食品原材料、食品添加物並びに諸々の品質表示等について、農水省の厳しいチェックがなされている。特に改正JAS法は、製造加工業企業に対してその責任を従来以上に強化しており、中小メーカーにとっては大きい問題であることは確かである。

また、強調表示などについても、公正取引委員会から業界としてのマニュアル作成について要請があり、味噌及び醤油の上部団体で公正競争規約などに基づき検討が進められている。従来使用されていた用語や文言などが規制されて来るようなことでもなれば、販売や経営等にも影響が出て来そうで不安を抱いている。

(5) 乾麺

食品産業は改めて「安全・安心・健康」をモットーとした製品作りが生き残りの道である。現在、農

政は地産地消を訴え流通もこれに準拠している。しかし、自らのブランドがなければ下請的製造となり、加工賃取りの経営にならざるを得ない。

(6) 清酒

7月はまた前年割れとなり、下げ止まりにはならなかった。取引条件も厳しく収益状況も悪くなっている。

繊維・同製品

(7) ニット

企業間の格差が大きくなった。

木材・木製品製造業

(8) 製材業

(外材輸入) 首都圏のマンション、アパートは好調であるものの、持ち家戸建て、木造住宅は軒並み低迷しており、見通しが立たない状況下にある。小名浜港の1～6月の輸入量も前年比で大幅に減少している。

出版・印刷

(9) 印刷

お中元、イベント関係のチラシが少し動いているが、サイズが小さくなったり色数が減少したりで売上減につながっている。県内全体的に低調である。夏場には益々悪化しそうである。

窯業・土石製品製造業

(10) コンクリート製品

製品出荷状況調査によると、昨年に比べて約30%の減少となっている。製品別では農業用製品が約35%減と大きく落ち込んでいる。そのため、当組合の中からも製品需要の著しい低下による経営不振から「不渡り」を出した企業が発生した。

(11) 生コン

公共工事・民間設備投資の減少により、生コンの出荷が減少している。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(12) (郡山地区)

当地区は鉄工工事の件数が現在非常に減少し、どの会員企業も苦勞している。先行きが全く見えない状況で元気の出しようがない。いずれ淘汰の時期が来つつあるのかというところである。

(13) 各種プラント機器

当組合のプラント設計、施工業界は見積り引き合い件数は増えているが、1件当たりの引き合い金額が低く、売上としては減少している。民間設備投資は相変わらず低迷している。

(14) 電子工業

8月～11月は携帯電話(次世代)の増産により、関係する業種については受注増が見込まれるが、他の製品についてはほぼ中国移管が完了し、今後増えることはないと思われる。

卸売業

(15) 卸売業

(県中地区) 7月後半は天候が良くなり売上は伸びたが、月の前半をカバーするまでには至らなかった。中元シーズンだったが売上はもう一つであった。特に法人向けギフトが伸びなかった。

(県南地区) 景況は全体として低調である。資金繰り悪化の企業が散見される。また、銀行の貸し渋りが目立つ。

(16) 再生資源

輸出がスクラップ相場の下支えの大きな要因をなしてきたが、7月に入って円高基調が強まったために鉄くず・非鉄が弱含み、古紙も保合で推移している。経済活動の停滞や猛暑によるくずの市中発生 of 低下傾向が顕著になっている。

(17) 肥料卸:

7月は売上げが前月、前年同月比ともに増加している。秋肥需要を前にして在庫を積み増しし、操業度も上げている。

小売業

(18) 石油

元売り各社では、7月の仕切価格を前月比で据置した。夏場の需要期を控え、販売価格も地区により不安定な状況にあり、今後の動向によっては累積赤字の拡大も懸念される。

(19) 食肉

焼肉店が好況になり、ギフト用食肉等も予想以上の動きを見せた。

(20) 米穀

市場は相変わらず廉価な商品への要望が強く、消費者の新米(超早場米)に対する反応も従前に比べて低い。荷動きも低調であり、業界全体としての景況は悪く、専門店としての経営は苦しくなっている。

今後超早場米を皮切りに新米の市場流通は増加するところであるが、業界全体に対する景況回復は多くを望めないところであろう。

商店街

(21)

福島市: 台風6、7号の影響で大雨の日は町中の人通りが少なく、また梅雨明け後は晴天と猛暑が続いて正午から4時頃までの暑さ厳しい時間帯も人通りが少なく、長引く不況とのダブルパンチの厳しい7月であった。

郡山市: 大町商店街恒例のイベント「おおまち笑・show・商」を7月7日(日)に開催した。高校応援団エール交換会をメインに、多彩な行事内容で盛況裡に終了した。

サービス業

(22) 美容業

7月は前月と同様全体的に低調だった。暑い日が続き店への出足が鈍かった。暑い日に向く職種(カット、パーマ等)もあるのだが昨年同様伸びない。お客様へアピールできる新しい職種の開発が必要か?

(23) 旅館業

(土湯温泉) 廃館した旅館を改装した医療施設「スパクリニック土湯」が本格稼働し、7月より旅館組合とタイアップして「温泉療法」を受けられる湯治システムをスタートさせた。湯治の方は平日でもご利用される方が多いので、旅館の収益アップにつながるものと期待している。

建設業

(24) 建設業

(県南地区) 台風6号による災害箇所は55箇所、工事金額は約10億円になる見込みである。発注は秋口になりそうである

(25) 内装工事

明るい話題もなく、業界は沈滞ムードである。

(26) 管工事

給水、排水設備申請とも、前月比、前年同月比で減少となった。(福島市)

運輸業

(26) トラック運送

(県北地区) 産業の空洞化及び公共工事の減少から地方の生産力は極度に落ち込み、加えて販売活動の不振もあって一般貨物の輸送量の落ち込みは顕著なものとなって危機感を抱いている。

青果物の輸送は、季節的な要因から前月よりは繁忙感が見られている。

(27) ハイヤータクシー

台風での雨と、暑さにより少しはタクシー利用が増えたが、前年同月比では減となった。

参考

1 「福島県金融経済概況」

平成14年8月2日 日本銀行福島支店

(景気は下げ止まりから、緩やかながら持ち直しに転じつつある)

県内景気は、生産の回復を背景に下げ止まりから緩やかながら持ち直しに転じつつある。

すなわち、国内設備投資向けなど内需関連企業では依然として減産を続ける先が多いが、海外景気を持ち直しや一部デジタル機器の需要拡大から、情報通信・電子部品関連企業を中心に稼働率を引き上げる先がみられ、生産水準は全体として持ち直し傾向を辿っている。

こうした生産の動きを映じて、雇用情勢は、全体としてはなお厳しい状況が続いているが、人員整理が一段落しているほか、夏期休暇の短縮やパートタイマーなどの採用に踏み切る動きが広がっている。

この間、設備投資は、投資額を一段と圧縮する動きは弱まっているが、なお前年を下回っている。

また、公共投資は減少基調にあるほか、住宅投資も低調に推移している。個人消費は、これまでの慎重な購買姿勢に一部変化の兆しがみられるが、全体としてはなお力強さに欠ける状況が続いている。

2 「月例経済報告」

平成14年8月8日 内閣府

(我が国経済の基調判断)

景気は、依然厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

- ・失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。
- ・個人消費は、横這いで推移するなかで、一部に底固さもみられる。
- ・輸出は大幅に増加しており、生産は持ち直しの動きが見られる。業況判断は全体として改善がみられ、設備投資は減少しているものの、先行きについて下げ止まる兆しもみられる。

先行きについては、輸出の大幅な増加や生産の持ち直しの影響が、今後経済全体に波及していくなかで、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、世界的な株安やドル安が進展したことにより世界経済の先行き不透明感が一層高まっており、我が国の最終需要が下押しされる懸念がある。

(政策の基本的態度)

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」を早期に具体化する。15年度予算編成については、歳出改革を加速すると同時に、経済活性化を目指した本格的かつ一体的な税制改革について具体化を進める。

また、デフレ克服に向け、政府・日本銀行は引き続き一体となって強力かつ総合的な取組を行う。

利用の手引き

1 はじめに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供してきました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実に努めていきたいと考えていますので、御意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

2 しくみ

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省	有効求人人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数 所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会			
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省			県電子社会推進・統計室 厚生労働省
	公共工事請負金額	保証事業会社協会			
	業務用建築物着工棟数	国土交通省			
生産活動	鉱工業生産指数	県電子社会推進・統計室 経済産業省			物価
	投資財生産指数		消費物価指数（総合）	県電子社会推進・統計室 総務省	
	消費財生産指数		企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク
	鉱工業出荷指数			金融機関預貸残高	日本銀行福島支店 日本銀行
	鉱工業在庫指数		貸出約定平均金利	中小企業業況判断DI	県産業振興センター
	大口電力使用量	東北電力福島支店 電気事業連合会	市場		株式
	大口電力契約量			円相場	日本銀行
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省			
	有効求人倍率				